

かえる倶楽部タイムズ

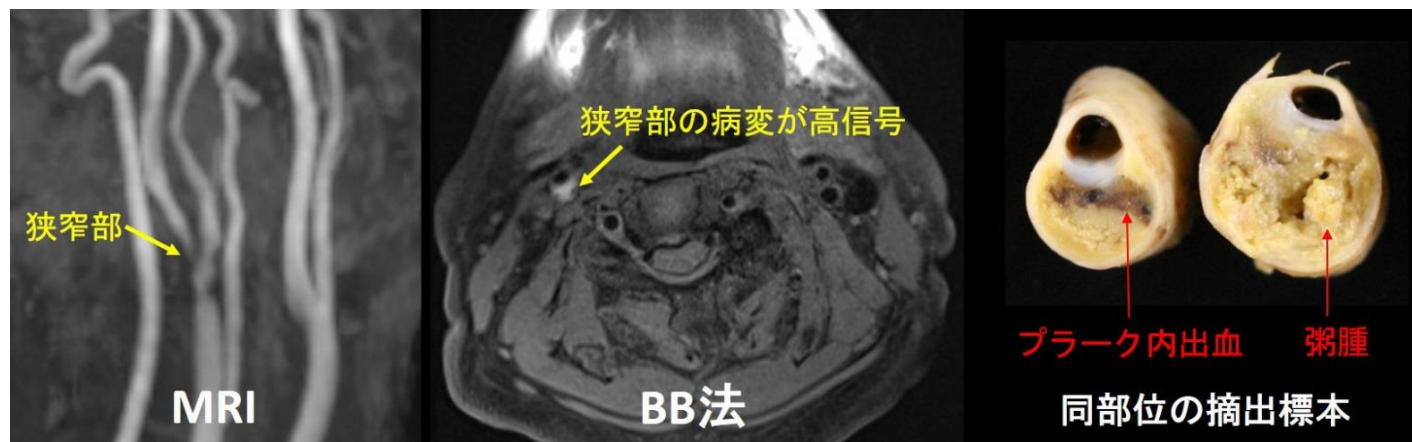
特集

「 頸部頸動脈狭窄の外科治療 」

●頸部頸動脈狭窄は頸部エコーで簡便に診断可能ですが、進行すると脳梗塞を引き起こすことがあります。

狭窄が軽度であれば内科治療(基礎疾患のコントロール、抗血栓薬の内服、生活習慣の改善など)が第一ですが、高度の狭窄や病変の性状が不安定な場合は脳梗塞の発症・再発の予防のために外科治療の適応となります。

病変の性状は特殊なMRI(black-blood法:BB法)で診断しますが、BB法で高信号を呈するプラークは不安定で脳梗塞を発症しやすいとされています。

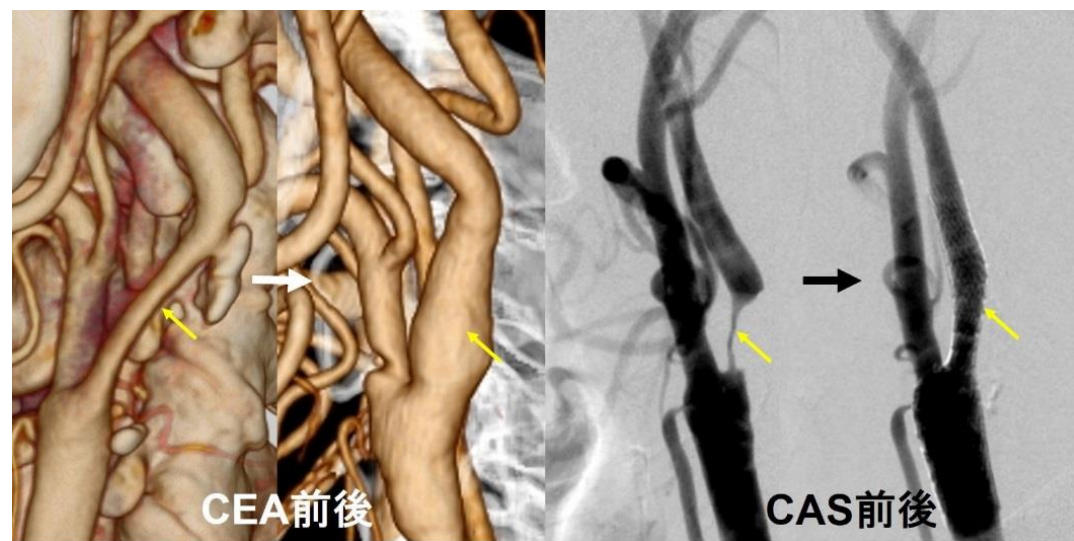


(写真1: MRA・BB法・標本)

●頸動脈狭窄症に対する外科治療には、頸動脈を切開してプラークを摘出する内膜剥離術(CEA)とカテーテルを用いて狭窄部を拡張させるステント留置術(CAS)の2つの方法があります。

どちらの方法にも長所・短所がありますが、病変の性状・位置および患者様の年齢・全身状態を総合的に判断して選択します。

BB法で高信号を呈する病変に対しては、当科では確実に塞栓性合併症を防止できるCEAを行っています。



(写真2: CEA・CAS前後)

●当科では十分なインフォームドコンセントのもとに治療法を選択しており、CEAとCASどちらも良好な治療成績が得られています。

●先生方の診療におかれまして頸動脈狭窄症が疑われる患者様に対しては、地域医療連携室へご用命いただければ脳神経外科外来にて対応させていただきます。

【診療日程】

月曜日(午前・午後)、木曜日(午前・午後)、金曜日(午前)

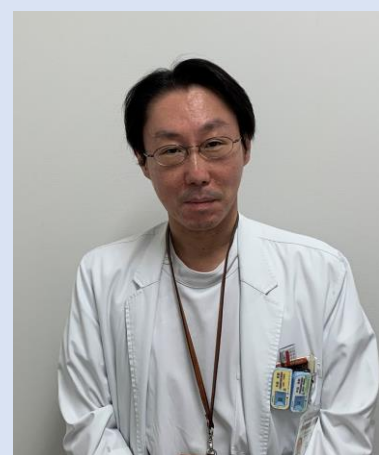
【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00

TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

関西電力病院
 脳神経外科
 部長 中島 英樹

日本脳神経外科学会 専門医・指導医
 日本脳卒中学会 専門医・指導医
 日本脳卒中の外科学会 技術指導医
 日本脳神経外科学会近畿支部 学術評議員



お知らせ

「 総合診断科 」 の ご 案 内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

